禁転載複製
当日配付
試験終了後公開

D21

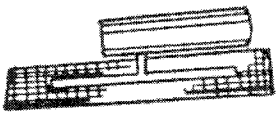
「中央職業能力開発協会編」

令和５年度 技能検定
３級 左官 学科試験問題
（左官作業）

1. 試験時間　1時間
2. 問題数　30題
3. 注意事項
   （1） 係員の指示があるまで、この表紙はあけないでください。
   （2） 答案用紙(真偽法用)に検定職種名、作業名、級別、受検番号、氏名を必ず記入してください。
   （3） 係員の指示に従って、問題数を確かめてください。それらに異常がある場合は、黙って手を挙げてください。
   （4） 試験開始の合図で始めてください。
   （5） 解答の方法(真偽法)は次のとおりです。
      イ. 一つ一つの問題の内容が正しいか、誤っているかを判断して解答してください。
      ロ. 答案用紙(マークシート用紙)へ解答する際は、答案用紙に記載されている注意事項に従ってください。
      ハ. 答案用紙の解答欄は、試験問題の題数に応じて解答してください。解答欄は100題まで解答できるようになっています。
   （6） 電子式卓上計算機その他これと同等の機能を有するものは、使用してはいけません。
   （7） 携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末等は、使用してはいけません。
   （8） 試験中、質問があるときは、黙って手を挙げてください。ただし、試験問題の内容、漢字の読み方等に関する質問にはお答えできません。
   （9） 試験終了時刻前に解答ができあがった場合は、黙って手を挙げて、係員の指示に従ってください。
   (10) 試験中に手洗いに立ちたいときは、黙って手を挙げて、係員の指示に従ってください。
   (11) 試験終了の合図があったら、筆記用具を置き、係員の指示に従ってください。

1　ウインチは、一般に、重量物の上げ下ろしに使用する機械である。

2　次図は、角鏝(ごて)である。



3　コンクリート系下地にセメントモルタル塗りをする場合は、下地処理をしなくてもよい。

4　平滑なコンクリート系下地では、セメントモルタルの付着を良くするために目荒しを行うとよい。

5　陸墨(ろく)は、天井、床、梁(はり)などの高さを求めるための基準となる墨である。

6　墨出しにおける単位の表示は、一般に、ミリメートルとする。

7　現場調合セメントモルタル塗りの下塗りは、上塗りよりも貧調合とするとよい。

8　現場調合セメントモルタルの練混ぜは、セメントと細骨材を空(から)練りしてから、水を加えて練り合わせる。

9　せっこうボード下地は、セメントモルタル塗り仕上げとする。

10　こまい下地は、土壁塗りの下地である。

11　せっこうプラスターの強度を増すためには、セメントを加えるとよい。

12　壁をセメントモルタル塗りで仕上げる場合、上塗りの金鏝(ごて)は、力一杯押さえ込むほど、ひび割れや浮きが生じにくくなる。

13　外壁セメントモルタル塗りのラスには、平ラスを使用する。

14　バーチャート(棒線式)工程表は、ネットワーク工程表よりも各関連工事との相互関係が分かりやすい。

15　セメントや混和用材料は、床に直置きにして保管しておくとよい。

16　手練りは、スコップや鍬(くわ)を用いて混練することである。

17　筋かいは、四辺形に組まれた軸組に対角線に入れた補剛材である。

18　単管足場は、鋼管と緊結金具などを使用して組み立てる足場である。

19　シーリング材は、建築物を構成する目地部分に水密や気密を目的として充填する材料である。

20　セメントモルタルの骨材として使用するパーライトは、屋内の保温や断熱などの目的で使用される。

21　セメントモルタルの練り混ぜ水には、一般に、上水道水を使用する。

22　せっこうは、火に弱い性質をもつ。

23　じゅらく土は、色土の一種である。

24　コンクリートブロック下地は、セメントモルタル塗りに適している。

25　外装タイル張りにおいて、凍害を少なくするためには、日本産業規格(JIS)に示すⅢ類よりもⅠ類を使用する方がよい。

26　SRC造は、鉄骨鉄筋コンクリート造の略称である。

27　建築物において、窓や出入口など採光や通行のために切り抜かれた部分を開口部という。

28　日本産業規格(JIS)の建築製図通則によれば、次図は、出入口一般を表す平面表示記号である。



29　外壁が土蔵造りのものは、防火構造である。

30　保護帽は、頭を下げた時に脱落しなければ、あごひもは結ばなくてもよい。